

スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携協議会

JR東日本のスポーツツーリズム推進の 取り組みについて

2019.9.2

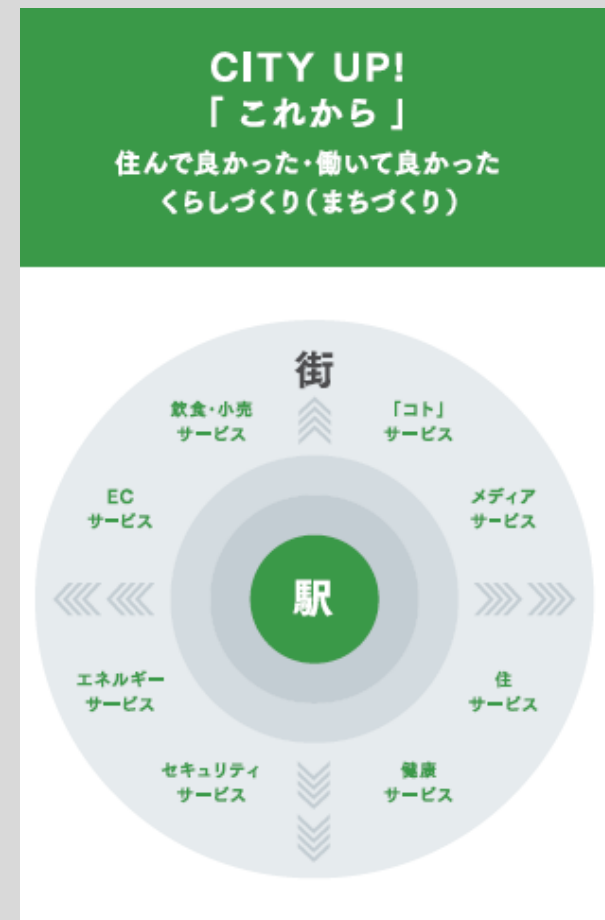
東日本旅客鉄道株式会社

「地方を豊かに」

■ 観光振興、地域活性化、輸送サービス変革、まちづくりなどにより、「コンパクト&ネットワーク」化を実現する。



「駅づくり」から「まちづくり」への挑戦で、新たな価値を創造




【4つの柱】

- 事業エリアの拡大とオープンイノベーションを通じた事業創造
- 多様な魅力あるまちづくりの推進
- 魅力発信と交流推進による地域活性化
- 既存事業のバリューアップ

■ JR東日本のスポーツツーリズム推進に向けた取り組み

- 地域スポーツイベントへの支援
- サイクルツーリズムの推進
- スポーツを軸とした地域づくり
- アウトドアスポーツによるインバウンド誘客



地域と連携したまちづくりの推進
地域の魅力発信・魅力向上の取り組みと交流促進による地域活性化

- 地域スポーツイベントへの支援
- サイクルツーリズムの推進

地域の特色を活かしたスポーツイベントへの支援を通じた誘客・創客・送客

【支援方法】

イベント等共催

⇒ 地域自治体との共同開催

協賛・後援

⇒ 地域イベントへの協賛（物品協賛含）・運営協力など

列車運行

⇒ イベントに合わせた臨時列車の運行
スポーツツーリズム推進に向けた列車造成

告知協力

⇒ 交通媒体の活用による告知協力
（トレインチャンネル、駅ポスターなど）

【事例】 仙台エリア「さくらんぼマラソン」

主催：山形県東根市

後援：JR東日本仙台支社ほか

内容：地元自治体主催イベントに後援等を行い臨時列車、連動旅行商品造成など地域への誘客促進



公認ツアー（JRパック）山形市内泊のご案内

※別紙申込書をFAXまたは郵送でお申込み下さい。

※e-mailでのお申込み出来ます。



- 日程 平成30年6月2日(土)～3日(日)1泊2日
※添乗員は同行いたしません
- 条件 往復JR券(指定席) + 山形市内ホテル(R/C) + 大会会場専用バス(往復)
- 特典 大会終了後、天童温泉の入浴がご利用になれます。

- 旅行代金 **27,000円～32,000円**
(東京駅発着 大人お一人様料金)
(20,000円～23,500円) ()こども
- ※上記料金にマラソン大会参加料は含まれておりません
- ※指定席は下記の列車に限定させていただきます。
ご希望の列車指定席が満席の場合は自由席対応となります。
- 募集人員 160名様(最少催行人員30名様)

◆ 行程 ご利用バス会社：八千代観光バス

◆ 東京駅上野大宮宇都宮小山のお一人様旅行代金 ()こども

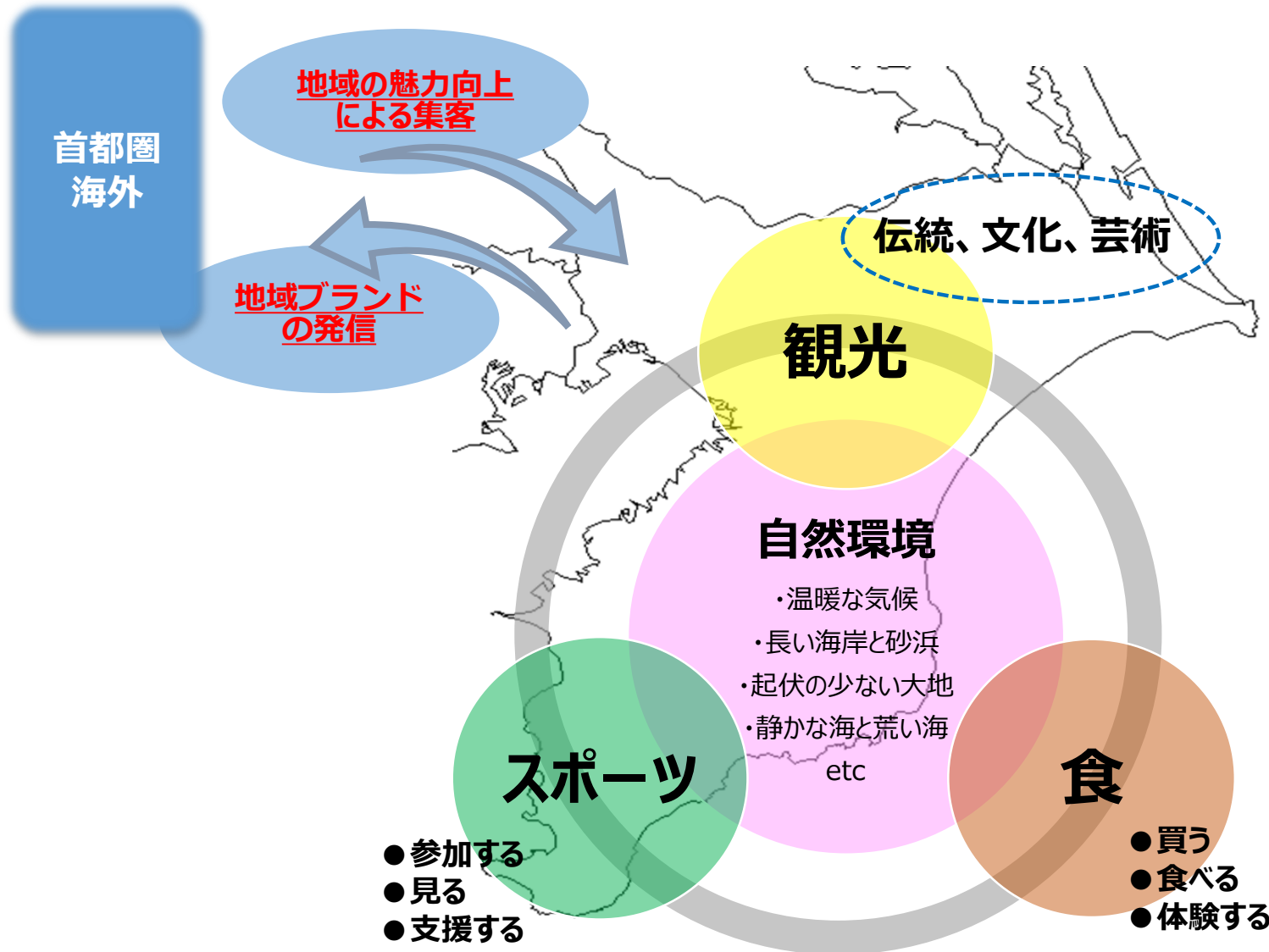
6月2日(土)		山形市内パック		
東京駅	(上野 大宮 宇都宮 小山)	プラン	2名1室	1名1室
11:00頃(発)→	山形新幹線	Aプラン	27,000円	28,000円
12:00頃(発)→	つばさ号利用	(こども)	(20,000円)	(-)
13:00頃(発)→	山形駅	Bプラン	28,000円	28,000円
		(こども)	(21,000円)	(-)
		Cプラン	-	28,000円
		(こども)	(-)	(-)
		Dプラン	30,000円	32,000円
		(こども)	(23,500円)	(-)

募集は終了いたしました

● ご案内 詳しいバスの運行案内については確認書によりご案内いたします。
※専用バスはJR山形駅からのご乗車となります。

※上記公認ツアー（JRパック）の申込みは、株式会社びゅうトラベルサービスへ

【事例】 千葉エリア 地域スポーツイベントへの支援とサイクルツーリズムの推進



**環境・文化・食などの地域資源と
スポーツの掛け合わせで
地域・経済を活性**

観光分野のフィールド拡大

- 新たな観光資源の発掘、観光需要の掘り起こしによる地域間交流の創出・交流人口増
- 地域活性化に向けた「コトづくり」の推進

地域ブランド力の向上

- 千葉の魅力発信で継続的な観光流動の創出
- 「住みたいまち」としての更なる価値向上

地域との連携強化

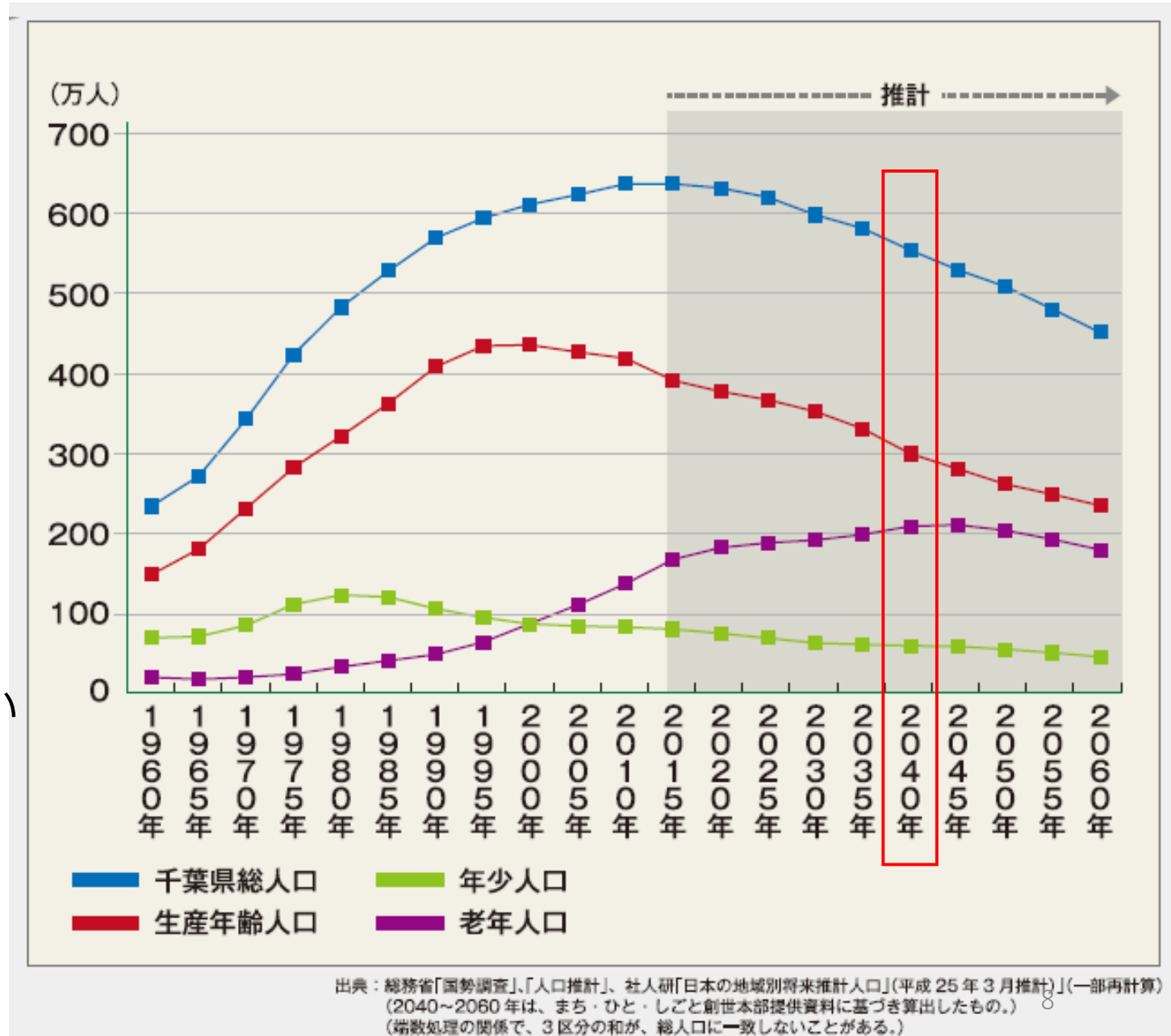
- 千葉県、各自治体との協力体制強化

■千葉県での人口推移予測

総人口627万人
(2018年10月)

2040年には・・・

- 総人口
 - ・ 88%に減少見込み
- 生産年齢人口
 - ・ 79%に減少見込（房総60-70%）
 - ・ 人口の54%となる見込み
 - ・ 全国平均61%に比べ高い割合で低い
- 老年人口
 - ・ 111%に増加見込
 - ・ 人口の36.5%のなる見込み
 - ・ 全国平均26%を大きく上回る



■千葉県観光入込状況

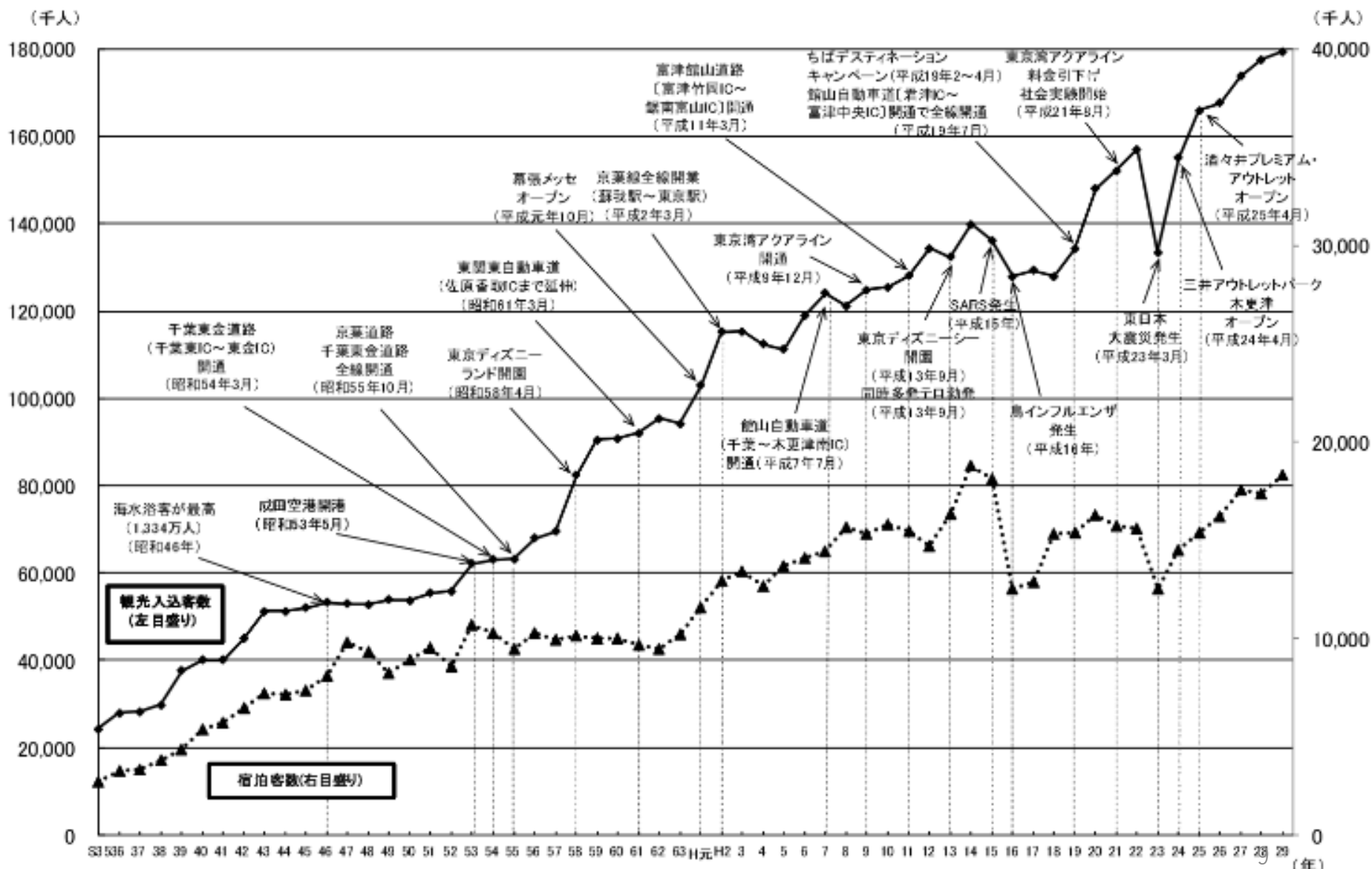
2017年
観光入込客数
1億8千万人
※過去最高

宿泊客数
1千8百万人

●観光入込客数
ベイエリア*、成田、
木更津地区で
県全体の80%

●宿泊客数
ベイエリア*、成田地区で
県全体80%

房総への入込数は、
全体で20%程度！



* 東葛飾地区含む



●サイクルトレイン

サイクルトレインで
房総への送客を担い、
地域の観光流動を促進



◆PLAYatre土浦



- 千葉シティトライアスロン
- ランランフェスティバル in 蘇我
- ちばアクアラインマラソン
- 木更津トライアスロン
- ツール・ド・千葉

- 館山わかしおトライアスロン
- Station Ride in 南房総
- グレートアース南房総
- 館山若潮マラソン
- 館山オープンウォータースイムフェスティバル
- 館山オーシャンフェスタ
- 南房総スポーツツーリズム観光セミナー
- 2020オリパラ事前キャンプ誘致

両国駅

千葉駅

銚子グルメライド
●銚子マリーナトライアスロン



- 九十九里トライアスロン
- QS6000サーフィン国際大会
- いすみサーフフェスタ
- 勝浦スイムフェスタ
- いすみ健康マラソン



モビリティ変革コンソーシアム

「行きたくなる」「住みたくなる」「集まりたくなる」
街の在り方の検討に向けた実証実験の実施

「トレイン&サイクルが拓くまちの魅力」



【実証実験の目的】

トレイン&サイクリングによるライフスタイル提案を通じて

- 来訪者及び地域住民にとって、地域の特性・魅力を引き出すための仕組みづくりの検討
- 「まちの関係人口の増加」「経済活動の活発化」「生活利便性の向上」「文化の醸成」など魅力あるまちづくりの検討

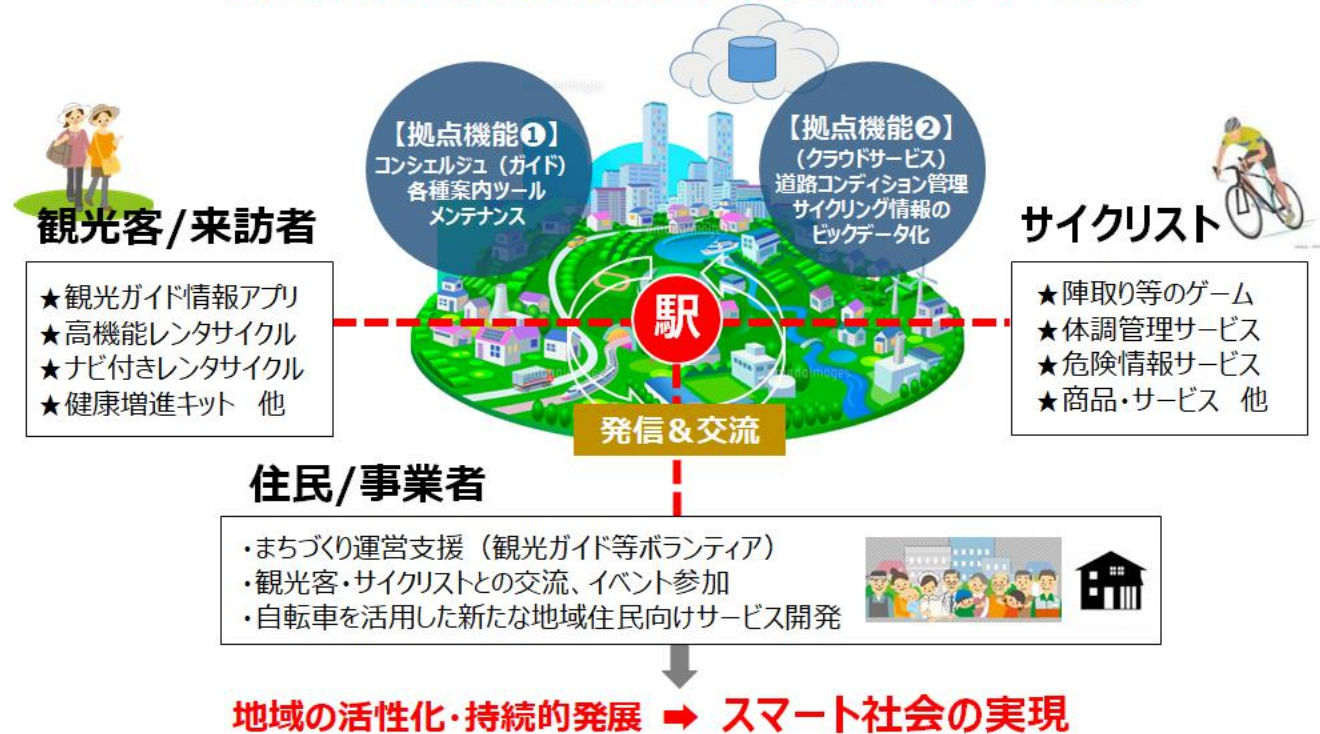
【実施場所】 館山市内



【実施方法】

- B.B.BASEの活用
- モニターツアーの実施
GPSロガー、実験用アプリを活用した館山市内サイクリング、ワークショップの実施を通じて実験を実施
- 実施期間 2018年10-11月、2019年秋予定

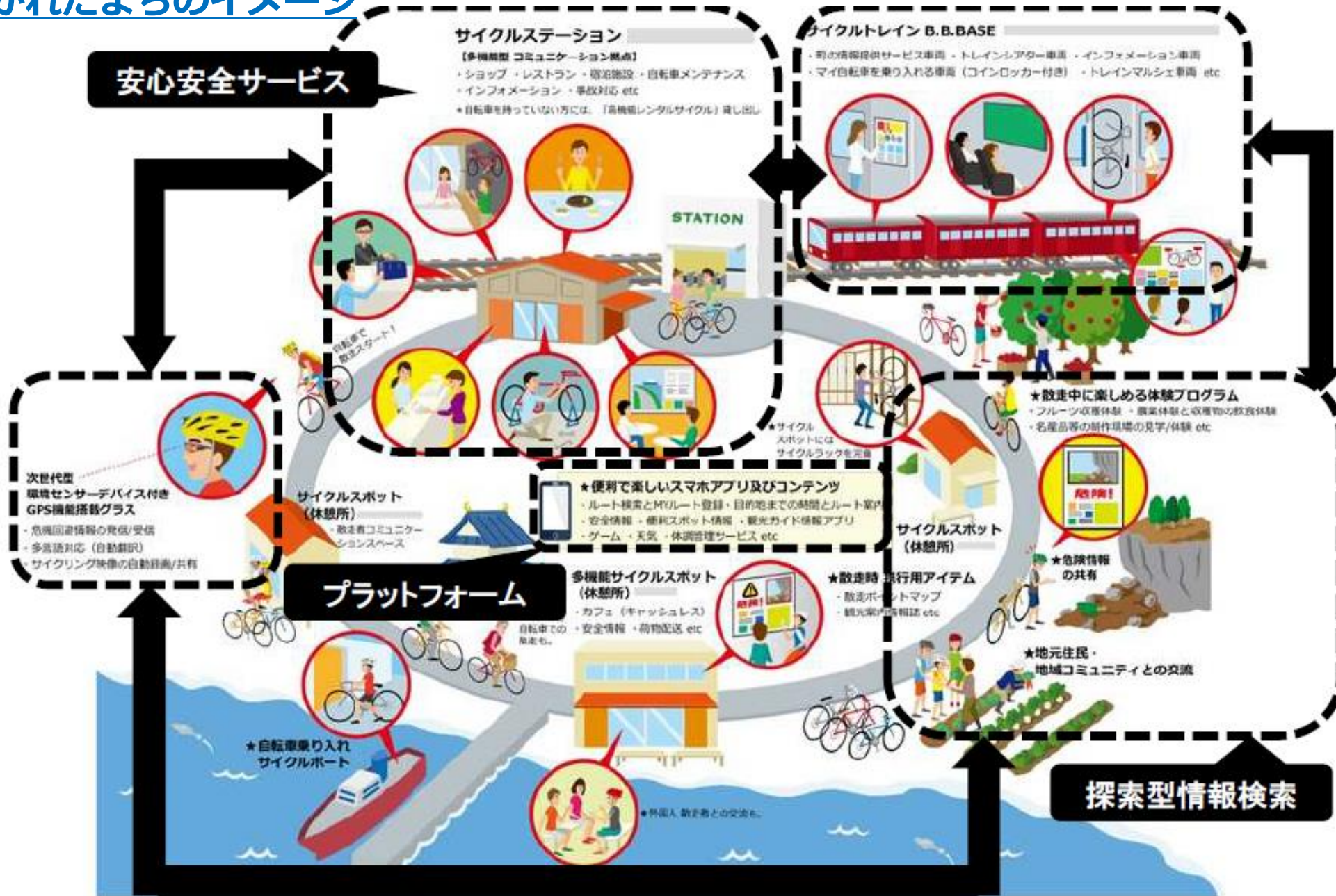
駅を中心としたまちづくり計画 「駅」= まちの情報発信・ひとの交流拠点
「まち×ひと×えき」によるライフスタイル・イノベーション



モビリティ変革コンソーシアム実証実感 拓かれたまちのイメージ



モビリティ変革コンソーシアム実証実感 拓かれたまちのイメージ



自転車を折りたたまずにそのまま載せられる専用列車

サイクルトレイン 「B.B.BASE」 (BOSO BICYCLE BASE)

【コンセプト】 房総の各地を自転車でかけめぐるための移動基地

【概要】 209系 6両編成 ※4号車フリースペース
定員99席 (自転車ラック99基)



■ 209系通勤列車を活用した簡易型サイクルトレインの運行



【千葉エリアでの運行例】

2009年～2010年

- ・両国駅を発着駅に3回運行

2013年～2017年

- ・サイクリングイベント「Station Ride in 南房総」のアクセスとしてリニューアルし再度運行開始。
- ・その後は、毎年複数回運行

2018年1月～

- ・B.B.BASEに移行

■ サイクルトレイン運行の背景

「地域」と「サイクリスト」の課題解決！

- 関係人口増加に向けた房総への送客
- 2次交通課題の解決
- 新たな需要喚起
- サイクリストに便利で快適な移動の実現
- トレイン&サイクリングというライフスタイルの定着

**自転車を折りたたまずそのまま載せられる
自転車専用列車「B.B.BASE」誕生！**

千葉のサイクル
ツーリズム推進
の後押し！

「B.B.BASE」 客室・サイクルラック

世界初!?

全車両 サイクリスト専用

- ・乗車定員分のラックを用意
- ・同一車両に配置

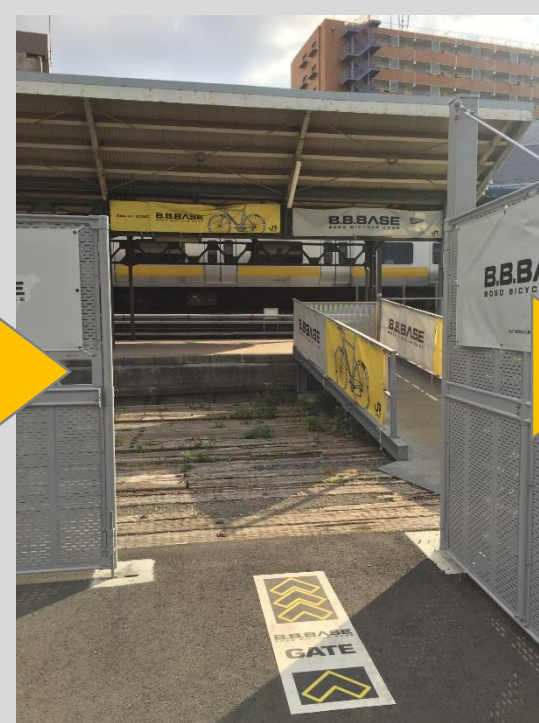
ラックへの取付けは3ステップの簡単操作！

「B.B.BASE」座席・フリースペース（4号車）



両国駅（発駅）

B.B.BASEゲート・3番線ホーム B.B.BASEバイシクルステーション



B.B.BASEバイシクルステーション ～手ぶらでサイクリング～

- ・ レンタサイクル（ロード、クロス）
- ・ クイックメンテナンス
- ・ 荷物預かり



フリースペース（4号車）の活用例

■ フリースペースの活用 （プロモーション・イベント）

- ・ ツアー参加者のイベント
- ・ 大会参加者受付
- ・ メーカー等の商品発表会
- ・ メーカー等のサンプリング
- ・ 物販
- ・ アンケート
- ・ 車内モニターでの映像放映
※50インチ4面

■ 一編成貸切

- ・ 企業PRイベント
- ・ モニターツアー
- ・ クラブ単位のライドツアー

■ 発着駅での自転車試乗会

- ・ 新商品紹介



■ 週末4コースでの定期運行と旅行商品としての販売

内房コース

県内でも温暖な気候に恵まれたエリア。海沿いのサイクリングが気持ちの良いコース

外房コース

海岸や丘陵もあり、ルート次第でさまざまなレベルに対応するエリア。温泉も楽しめるコース

佐原コース

景観のよいサイクリングロードと、歴史や文化に触れ合える北総日本遺産エリア

銚子コース

太平洋を眺めるダイナミックな景色を堪能できるエリア。絶景とグルメを楽しむコース

● PLAYatre土浦



● B.B.BASE バイシクルステーション (両国)



手ぶらでサイクリング

- ・レンタルバイク
- ・クイックメンテナンス
- ・手荷預かり



■ 地域イベントへのアクセスとして運行

地域スポーツイベントと連携し、参加者・応援者のアクセスとして運行

<2018年度連携イベント>

- グレートアース館山南房総鴨川ライド
- 犬吠埼エンデューロ（2019年～銚子グルメライド）
- 館山わかしおトライアスロン
- 木更津トライアスロン
- 九十九里トライアスロン
- 銚子チャレンジトライアスロン
- ツール・ド・ちば
- Station Ride in 南房総



■自治体・地域との連携によるサービス拡大

B.B.BASE協力施設として自治体を通じて地域事業者と連携

- B.B.BASEエイドステーション
- クーポン使用施設
- 特典使用施設

【計192箇所】

※**県北エリア**で87施設、**県南エリア**で105施設が登録

サイクリングマップの共同制作

- **南房総観光連盟**との共同作成

B.B.BASE定期便を活用した

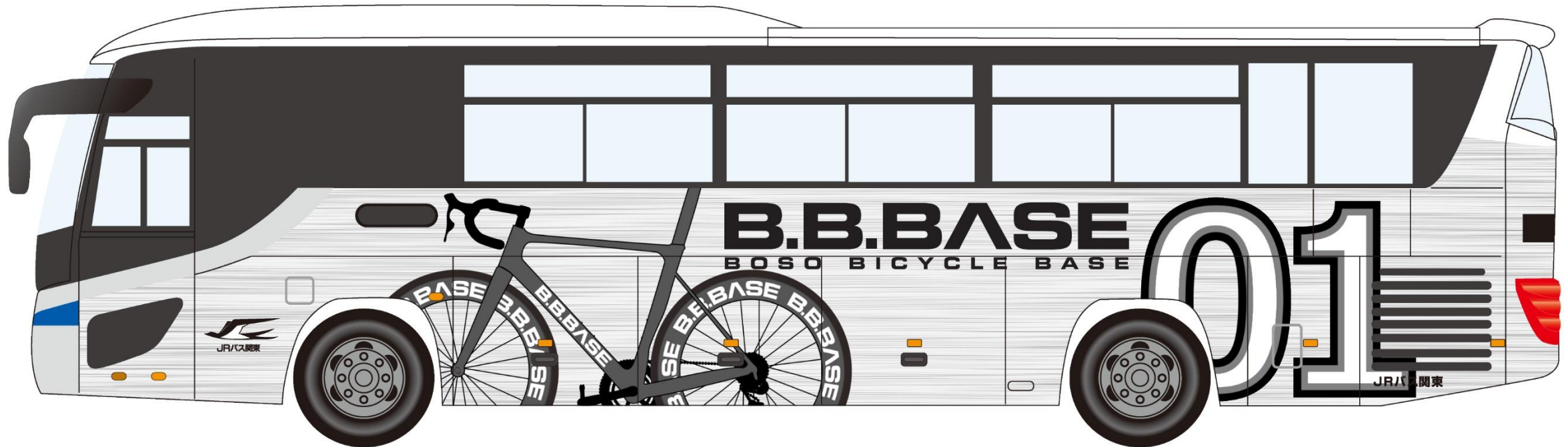
各方面現地イベント（ガイドツアー等）との連携

- 銚子～土浦ライドツアー
- トライアスロン加藤友里恵選手と行く！**銚子周遊ガイドサイクリング** ※
- アニメ「輪廻のラグランジェ」舞台めぐり**鴨川勝浦サイクリング** ※
- 小嶋菜月さんと行く！**南房総館山菜の花ポタリングツアー** ※
- サイクルアパレルブランドと行く春のBOSO BBQ RIDE



※ = B.B.BASEをきっかけに始まったイベント。以上は2018年に実施した一例

B.B.BASEラッピングバス (JRバス関東)



● スポーツを軸としたまちづくり

駅を中心とする地域まちづくり、魅力ある施設開発と地域の特色を活かした賑わいづくり

秋田駅

行政・大学・地元企業と連携した駅周辺まちづくりを推進しており、東口は健康・スポーツをテーマにしたプラチナタウン計画を進めています。



土浦駅

従来型の駅ビルから「コト消費型駅ビル」への業態転換をめざし、体験型サイクリングリゾート「プレイアトレ」としてリニューアルを進めています。

【事例】秋田エリア「秋田ノーザンゲートスクエア」

バスケットボールを軸としたまちづくり

秋田駅を中心としたコンパクトシティー化を目指して秋田県、秋田市が進める「ノーザンステーションゲート秋田」の一環として、体育館を整備。

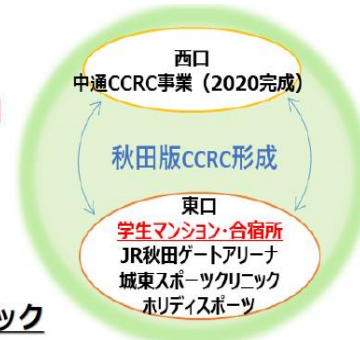
- ・ 2019.冬 アリーナ「秋田ノーザンゲートスクエア」開業予定
- ・ 2020.春 学生マンション及び合宿宿泊所の開業予定

アリーナイメージ



<CCRCコンセプト>

- ・ 中心市街地の既存インフラを活用
- ・ 西口にCCRC拠点を新設
- ・ 東口は健康・スポーツをテーマ
- ・ 高齢者と若い世代の流入促進



【西口】 中通CCRC拠点事業
2020年度完成



連携・連動



全国最大級のスポーツ整形クリニック (2018年5月開院済)



城東スポーツ整形クリニック
診療・入院・手術・リハビリ

【東口】 プラチナタウン 2020年完成 “健康・スポーツタウン” 若い世代の流入を促進



JR秋田ゲートアリーナ
バスケットコート2面
子育て支援施設・店舗・事務所

3~10F	学生マンション 約80戸
2F	合宿・宿泊フロア 約9室
1F	エントランス・食堂

医療法人 城東整形外科
Johto Orthopaedic Clinic

地元医療法人との連携



JR実業団バスケットボールチームと地元プロチームと連携し、アリーナによる地域活性化



学生マンション・合宿所計画により若い世代の流入を促進

【事例】茨城エリア「PLAYatré TSUCHIURA」 土浦駅をサイクルツーリズムの拠点へ

- ・ 2018.4月 土浦駅ビルをサイクリスト施設「りんりんスクエア」にリニューアル（茨城県と連携。県が施設設置、駅ビル会社が指定管理）
シャワー、ロッカー、カフェ、サイクルショップ、
レンタサイクルの機能を有しスポーツ観光の拠点化
- ・ 2019.4-5月 レストランゾーン、マーケットゾーン開業
- ・ 2020.春 サイクリングホテル開業
- ・ BBBASEと連動した広域サイクリングイベント実施



フロアガイド





【事例】千葉エリア「KEIYO TEAM6（京葉チーム6）」

トップスポーツチームと連携した沿線まちづくり

JR京葉線沿線に複数の異なる競技のトップスポーツ6チームが本拠地を構え活動。沿線トップスポーツチームと連携した情報発信・集客施策により、地域ブランドを醸成し、スポーツを軸とした「訪れてみたい・住んでみたい」沿線まちづくり（スポーツに触れる機会増）、まち回遊を推進。

・2016.8月 プロジェクト開始



進化する毎日。京葉線



駅からはじまるスポーツのまちキャンペーン

2019年8月20日(火)から10月31日(木)まで

海浜幕張駅と蘇我駅 ZOZOマリンスタジアムにあるサインージュをみてね!

京葉線プラスアプリをダウンロードしてキャンペーンに参加しよう!

京葉線プラス 検索

QRコードは iPhone/Android 両方に対応しています

主催：JR東日本 モビリティ変革コンソーシアム お問い合わせ先：20010-jri-smartcity_office@ml.jr.co.jp



● アウトドアスポーツによるインバウンド誘客

- ・ ウィンタースポーツ 【新潟】
シンガポールでのプロモーション
「GALA湯沢」における多言語サービス提供
- ・ サイクリング 【千葉・茨城】
台湾でのプロモーション
台湾でのサイクルトレイン「B.B.BASE」販売

【事例】新潟エリア「ウィンタースポーツ」

ウィンタースポーツのシンガポールでのプロモーション実施

- ・シンガポールのJR直営カフェ「JAPAN RAIL CAFÉ」で、スノーマットを使用した体験イベント実施
- ・「GALA湯沢スキー場」（JRグループ）ではレッスン多言語対応のほか、外国人向けに「かんじきツアー」をメニュー化



【事例】千葉・茨城エリア「サイクリング」

台湾での魅力的なサイクリングコース紹介及びB.B.BASEのプロモーション実施

- ・台北のJR直営カフェ「JAPAN RAIL CAFÉ台北」で、千葉・霞ヶ浦の魅力的なサイクリングコースの紹介及びサイクルトレイン「B.B.BASE」のPRを実施

●台湾でのサイクルツーリズムPR、B.B.BASE販売プロモーション実施

2019.4月3日-30日 「JAPAN RAIL CAFÉ 台北」でのプロモーション実施

※千葉・茨城観光・サイクリング情報発信&BBBASE PR

2019.4月27日 台湾サイクリスト林彦君氏（151氏）、BiCYCLECLUB編集長によるトークイベント

2019.4月1日 台湾創造旅行社ホームページよりB.B.BASE予約開始

2019.9月 台湾旅行社による来日ライドツアー実施

●台湾版「BiCYCLE CLUB」B.B.BASE&サイクリング記事掲載

B.B.BASE & 千葉・茨城観光みどころ紹介記事掲載 10P（2019年4月号（2日発行））

「JAPAN RAIL CAFÉ台北」でのプロモーション



台湾版「BiCYCLE CLUB」



西田支社長オープニングスピーチ



オープニングスピーチでは、「B.B.BASE」に乗って風光明媚な房総半島で潮風を浴びながらのサイクリングと美味しい海の幸を楽しんでほしいとご挨拶された。

ゲストトーク



台湾のタレント林彦君氏が「B.B.BASE」に乗車し、現地を試走した際の様子をスライドを交えて紹介。「B.B.BASE」の機能や感想、房総のサイクリングコースの魅力について語った。



(左)林彦君氏 台湾で活躍する俳優・旅行番組司会者
(右)岩田淳雄氏 バイシクルクラブ編集長



B.B.BASEクイズ大会



落花生ジェラート試食



落下生アイスクリームをイメージした落花生ジェラートの試食

ご清聴ありがとうございました。